

奨学生アンケート

例年、夏の工場見学会の感想文を掲載していますが、台風の影響で工場見学会が中止となりましたので、10月に実施した奨学生アンケートの結果を掲載いたします。また、2025年11月の奨学金受領確認書を返信いただいた際に、たくさんの奨学生の皆様から近況報告等について記載いただきましたので、合わせて掲載いたします。

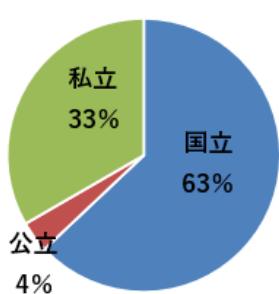
2025年度奨学生アンケート結果のお知らせ

事務局では、翌年度の新規奨学生採用計画の参考とすることを兼ねて、毎年、奨学生へのアンケートを行っています。今年度のアンケート(10月1日～14日実施:対象54名)の結果をお知らせいたします。

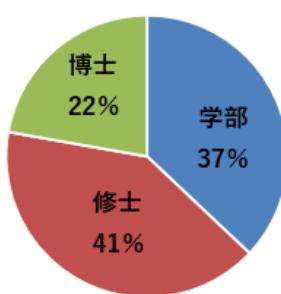
1. 2025年度奨学生の概要

学年		日本人				外国人	合計	通学	
		国立	公立	私立	小計			自宅	自宅外
学部	2	1	1	4	6		6	3	3
	3	2		3	5		5	4	0
	4	5		4	9		9	4	5
修士	1	8	1	4	13		13	8	5
	2	8			8	1	9	1	8
博士	1	5			5		5	0	5
	2	2		1	3	1	4	2	1
	3	3			3		3	0	3
合計		34	2	16	52	2	54	22	30

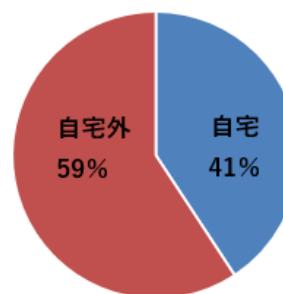
学校区分



在籍区分



通学区分



2. アンケート結果(日本人 52 名、外国人 2 名)

(1) 来年度の進路について

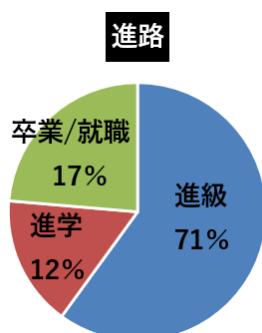
卒業 13 名のうち 11 名全員が内定済み。

進級○進学者 41 名のうち、支給期間満了 1 名を除く 40 名が支給継続希望。

	日本人				外国人				合計
	進級	進学	卒業/就職	(内定)	進級	進学	卒業/就職	(内定)	
学部*	12	6	2	2					20
修士	13	2	6	6			1	1	22
博士	7		4	2	1				12
合計	32	8	12	10	1	0	1	1	54

(2) 就職内定先

石川県、いすゞ自動車㈱、地方独立行政法人 桑名市総合医療センター、
トヨタ自動車㈱、太陽誘電㈱、国立大学法人 筑波大学附属病院、
野村證券㈱、三菱重工㈱、㈱P&G、㈱日立ハイテク、㈱日本設計



(3) インターンシップについて

	経験		参加時期 (重複あり)			今後の興味 (除く内定者)	
	有	無	夏季	春季	その他	有	無
学部	4	16	3		1	4	
修士	18	4	16	1	4	11	1
博士	6	6	4	1	4	2	2
合計	28	26	23	2	9	17	3

参加回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	合計
人数	6	3	7	4	3	5	28

○経験者推移

2014 年度 11 名、2015 年度 15 名、2016 年度 17 名、2017 年度 22 名、2018 年度 28 名、

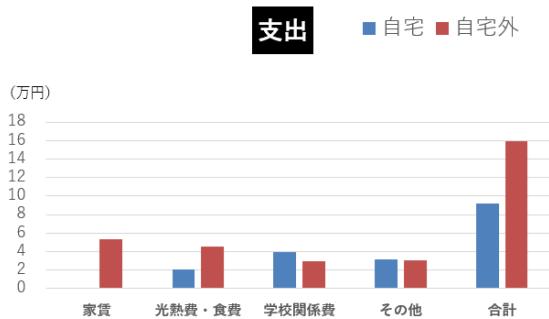
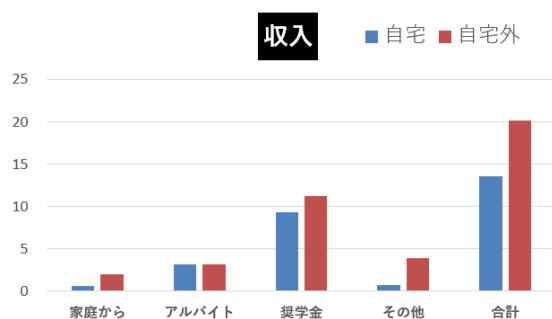
2019 年度 28 名、2020 年度 29 名、2021 年度 27 名、2022 年度 25 名、2023 年度 19 名、

2024 年度 29 名

(4) 生計について(奨学生 1ヶ月の平均金額 単位:円)

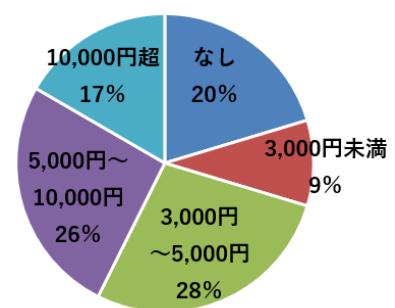
収入	自宅	自宅外
家庭から	5,455	19,335
アルバイト	31,182	31,506
奨学金	92,486	111,667
その他	6,818	38,536
合計	135,941	201,044

支出	自宅	自宅外
家賃	1,000	53,053
光熱費・食費	20,230	45,437
学校関係費	38,920	29,572
その他	31,455	30,914
合計	91,605	158,976



(5) 物価高の支出への影響について

物価高の影響 (月額)		自宅	自宅外	合計
影響なし		8	3	11
影響あり	3,000円未満	3	2	5
	3,000円～5,000円	4	11	15
	5,000円から10,000円	2	12	14
	10,000円超	5	4	9
合計		22	32	54



(6) 将来の計画(目標、希望等)

研究者:22名(重複:「エンジニア」2名)

- シンクタンクの研究員となり、日本の資源循環や棄物処理に関する問題を上流側から解決したい。
- 現在行っている環境汚染物質の分解のような、環境問題の解決に資する研究がし続けたいと思い、環境浄化に取り組む企業などの研究職に就きたいと考えております。
- 癌患者へ対し特定の臓器へ直接効果的に薬を届ける仕組みを研究したい。
- 博士課程を卒業後、大学にて教員として、または製薬企業に就職することで、創薬研究に携わりたいと考えております。
- 化学(素材)メーカーで、ものづくりを通して人々に貢献したい。○技術開発や生産技術で、ものづくりを支えたり、新しいものをつくりたい。
- 博士学位までは、データ科学に関する理論研究に取り組んでまいりましたが、応用研究の方にも取り組んでいき、地球規模の環境問題の解決につながるような研究を実施したいと考えています。
- 貢献したい分野としては、電子機器の小型化や高性能化などの分野です。これに貢献するべく、職種別採用にて応募し、研究開発職として採用していただきました。将来は海外での経験を積み、帰国後はマネジメントする立場のキャリアを築きたいと考えております。
- 基礎医学や神経科学、薬理学などを含む生命に関する学び、工学に結びつける知識○技術及び研究を通して、医療に貢献できる研究者を目指しています。未来の医療を医療機器の開発○技術面から支える一人になる考えです。
- 博士後期課程修了後は、現在の研究内容を基盤として、海外の大学で数年間ポスドクとして研究を続けることを想定しています。将来的には日本のアカデミアで研究を行うことが理想ですが、ポストの状況には不確定な要素も多いため、ポスドク期間中に企業への就職も含めて今後の進路を検討していく予定です。
- 将来は製薬企業で医薬品開発に携わり、病気で苦しむ人々を救いたいと考えています。大学○大学院で培った化学的○生物学的手法や研究経験を活かし、他者と協力しながら創薬研究に貢献するとともに、常に新しい知見を取り入れ、安全で効果的な薬の開発に取り組みたいと考えています。
- 計算バイオメカニクスの分野にて、実験と計算の双方から現象解明に取り組み、医療技術の発展に貢献したいと考えている。
- 医療の分野に工学の側面から貢献したいです。特に人工組織○人工臓器の開発などに興味があります。
- 私は、等身大人型ロボットの機構(高性能モータ○関節)および制御(最適化○強化学習による宙返りなどのダイナミック動作制御)の研究に、学部時代から取り組んでいます。
- かつて日本は ASIMO に代表される人型ロボットの分野で世界をリードしていましたが、複雑な身体のダイナミック制御や汎用的なタスク実行、モータ性能などに限界があり、その後ブームは一時的に停滞しました。
- しかし近年、運動制御が得意な強化学習、汎用タスク実行に優れた大規模言語モデル(例:ChatGPT)、そして高性能モータの発達を背景に、世界的に人型ロボット研究が再び活発化しています。この“第二次人型ロボットブーム”では米中企業が先行していますが、私は少子高齢化と災害対応といった社会的課題を抱える日本こそ、この分野をリードすべきだと考えています。
- 私は、これまで培った機構設計と制御の両面からの知見を活かし、日本発の人型ロボット研究の発展に貢献できるよう、今後も研究に邁進してまいります。
- 化学メーカーの合成纖維の研究開発に携わりたいです。
- 免疫学に関する研究をしたい。今回ノーベル賞を受賞した制御性 T 細胞など、主に自己免疫疾患治療に応用されることについて研究したい。
- 私は免疫分野で臨床に繋がる新たな発見をし、治療法の開発に貢献したいと考えています。そのために、臨床と基礎研究の双方を理解し、両者をつなぐ架け橋のような医師研究者になることを目指しています。具体

的には、後期研修の途中で大学院に進学を考えています。

○動物の社会行動に関連した研究するために研究員をしたいと考えていますが、受け入れ先の研究室は決まっておらず、今取り組んでいる論文を投稿後に面接を受ける予定です。

○航空宇宙工学の分野で修士での研究で得た知識や経験を活かして働く研究開発職に携わりたいです。現在、重工業や炭素繊維業界の研究開発職を中心に入職活動を行っています。

○半導体技術を用いて医療機器関連の高精度化やコスト削減を図り、医療アクセスを向上させることで、持続可能な社会の実現に貢献したい。

○AIを取り入れたプロダクトを開発し、医療や教育といった分野の課題に取り組んでいきたい。

○企業の研究職に就いて、材料科学の観点から社会の発展に貢献したい。

○現在研究している内容のほかにも、興味深い内容があると思うので自分なりに面白いことをやりつくしたい。

エンジニア:24名(重複:「研究者」2名)

○国際協力をインフラ建設○管理の分野で行いたいと思っています。

○高速道路事業に土木職として携わり、道路や橋梁の保全を行う。日本の経済を交通インフラから支える。

○現在、研究中の全固体電池の実用化に貢献し、電気自動車の発展に貢献する。

○現在、数値計算を用いた全固体電池の研究を行っており、将来的にはその発展○普及に貢献したいと考えています。

○金属化学もしくは有機化学分野で研究を行いたい

○トラック用エンジンの設計に携われるエンジニアになりたいと考えている。

○土木技術者として、土木構造物の設計や施工、維持管理に関わりたい。

○化学(素材)メーカーで、ものづくりを通して人々に貢献したい。技術開発や生産技術で、ものづくりを支えたり、新しいものをつくりたい。

○自動車会社の生産技術職として、自動車の工場で最もCO₂の排出量が多い塗装工程で、CO₂削減に関する業務を行い、CNに貢献する人材となりたい。

○自動車やロボット等の制御系の研究開発を将来的に行いたと考えています。

○インフラ整備で人々の生活を支えたい。

○農業や介護など人手不足が深刻な分野で、人工知能やIoTで業務効率化や自動化を支援する様な仕事をしたいと考えている。

○研究で培った知識(モータ)を活かせる仕事に就き、省エネや振動を抑制し使い心地の良い製品を開発するのに貢献したい。

○私は現在工学部で電気分野を学んでいるのでソフトウェアエンジニアなどを考えています。

○大学院では機械学習分野を学ぶことで現代社会における情報技術の進化に貢献できるスキルを身につけ、将来的にはIT技術を用いて社会問題の解決に貢献したいと考えています。

○施工管理系のエンジニアや、機械営業。

○都市開発に携わるコンサルタントとして、機能的かつ魅力ある都市空間づくりに貢献する。

○電子や光といったミクロな世界の研究を大学で学び、卒業後は電気電子系の開発職に就きたい。

○内定をいただいた会社で出世をして、建築設計の分野で活躍したい。

○大学で学んだ強度○構造に関する知識を活かし、発電プラント○航空機などの研究開発を進めることで人々の暮らしを支えたいです。

○AIを取り入れたプロダクトを開発し、医療や教育といった分野の課題に取り組んでいきたい。

○情報系分野(エンジニアやデータアナリストなど)でAIを活用した業務を、情報分野向けではなく、他の分野に向けて行う。

○解析装置の修理。

事務職:1名

○ビジネスデザイン○金融の専門職○生産技術を中心に見ている。

教職(除く大学):0名

その他:9名

○地元に対して今まで勉強してきた分野(土木)で貢献、特に今研究している海岸分野について保全していく。

○病院勤務の臨床検査技師を目指しています

○入職後、患者様や他職種との信頼関係を築き、質の高い薬物療法の提供に努める。また、妊婦○授乳婦薬物療法認定薬剤師の資格取得を通じて専門性の向上を目指す。将来は、母親が抱える不安の軽減や薬学的課題の解決に取り組みつつ、症例の発信等にも積極的に関わり、医療全体へ貢献していきたい。

○私が貢献したい分野は、建築における廃材の再利用と既存建築の再生です。解体によって失われる資源や空間の価値を見直し、素材や構造を活かした新しい建築の可能性を追求したいと考えています。

○具体的に就きたい職種や活動の場は未定だが、研究又は臨床の分野で何か革新的な事をし医療に貢献する未来を思い描いている。

○医師免許取得後は、臨床医として研鑽を積みたいです。また、いざれは臨床での疑問を解決する研究にも携わりたいです。

○大学で学んだ理学の手法を用いて金融の世界を理解し、経済システムの安定に寄与したい。

○30代くらいまでにする仕事は、業種を問わず、知的生産性を身に着けながら忙しく働く仕事が良いと思っています。例えば、ジャーナリスト、新聞記者、アナリスト、コンサルなど。その後は日本の教育の質を上げるために何らかの活動をしたい。

○企業の経営から経済活動に携わり、日本の国力向上に貢献したい。

将来の活動の場(重複:「大学」と「企業」1名)

○大学:9名 ○企業:40名 ○公務員 1名 ○自営/起業:1名 ○その他:4名

(7)「将来の計画」の実現のために是非やりたいこと(学生生活で)

語学力の向上

○第二外国語など国際的な環境で仕事を行う上で必要な知識○教養を身につける。

○英語学習の継続。

○英語力の向上。

○英語および中国語を磨き、コミュニケーション能力の向上を図る。

○英語の勉強 海外での活動も視野に入れているため。

○(学業につながることかもしれません)英語によるコミュニケーション能力をさらに向上させることで、共同研究の幅を広げたいと考えています。

○TOEIC 対策を行い大学院進学に備える。

○留学生との対話(英語力向上)。

○英語のリスニング力強化。

○英語学習。

○海外旅行で困らないようになるための英会話レッスン

- 英語の読解力および会話力の向上。
- グローバルに活躍したいので、英語の会話力を向上させたい。また英語以外の言語にも挑戦したい。
- (苦手なので)英会話の練習。
- 海外の方とたくさんコミュニケーションをとって英会話のスキルを身に着けたいです。

- 語学の勉強。特に英語で、中国語に関しても学習したい。
- 経営企画職として働くため、それに必要な excel などの microsoft のスキルや英会話力を向上させたい。
- 英語学習と国際交流。

インターンシップ〇就職関連

- 就職活動。
- インターンシップに赴き、業界、企業理解を深める。
- インターンシップなどで企業の方と交流。
- 製薬企業の研究所の見学に積極的に参加しようと考えております。
- 積極的にインターンシップに参加し、社会に出て働く上でのイメージを身につけておく。
- インターンシップへの参加。
- 希望するインターンシップを全していくこと。
- 実際に企業にインターンに行き、どのように研究しているのかを知りたい。
- アルバイト、インターン、株式投資などを通し、企業や社会を知る。

- 研修先決定の判断材料とするため、いろいろな病院に見学に行く。
- 他の研究室の博士学生や先生方との交流の場に積極的に出て、研究員募集の情報を収集する。
- インターンシップに参加することで将来について視野を広げる。
- 前記の仕事に関するインターンシップ。
- 研究で得た知識を社会実装の現場で活かすために、企業インターンシップなどに参加したい。
- 企業のインターンに参加する。
- インターンへの参加。
- 企業インターンシップや産学連携プロジェクトへの参加。

専攻分野の勉強関係

- 実際に途上国に足を運んだり、国際的なプロジェクトに携わることにより、現場の状況を体感的に知る。
- 環境問題全般に関して、現在どのような項目が注目を集めているのか情報収集を行う。
- その環境問題に関する社会〇経済の仕組みについて把握する。
- 研究に励み、良い研究成果を出す。
- 研究室の教授、先輩方から助言を伺いたい。
- 産業界や行政機関とのセミナー等に参加。
- 現在、薬剤師国家試験の合格に向けた勉強が最優先のため、学業に努める。
- 茨城県における地域医療の特徴について情報収集を行う。
- 論文執筆。
- (かっこいいロボットを設計するために)デザインの勉強。

- 既存建築のリノベーションや調査プロジェクトへの参加。
- 環境〇建築に関する自主研究や発信活動。
- 廃材を用いた小規模建築〇インсталーションの制作。
- 今やっている大学病院でのボランティア活動を継続して、患者さんと関わる機会を持続する。
- 学会参加や海外の研究〇医療現場への見学などを通して、異なる研究スタイルや医療システムに触れ、柔軟な発想と広い視野を養いたい。
- まず、現時点で行っている医療×AI の共同研究にしっかりと取り組むこと。
- 医療や教育などの理解を深め、より粒度の高い課題感を持つための学習〇実務経験の獲得。
- 国内での研究滞在。

専攻分野以外の勉強○自己啓発

- 就職支援団体エンカレッジでチームワークや pc スキルの上達。
- インフラ、IT テック、ランドスケープなど自分の興味のある学類の専門性を高める。
- 新聞を毎日読む。
- 自己啓発本等を読み、考え方や行動を見直したいと思っております。
- 技術者としての理論的思考力、応用力の取得。
- なるべく多くの国へ赴き、それぞれの国の文化の違いを肌で感じること。
- マーケティングに関する勉強。
- 人工知能の精度向上方法や応用方法についての学習
- AI や PC に関する知識○技術の習得。画像解析技術など、PC や AI を活用できる人材になるとより良い研究開発が出来ると考えられる。
- 視野を広めるための教養の習得(歴史、社会学、文学)。
- 様々なことに積極的に挑戦し、いろいろな知識やスキルを習得する。
- 免疫だけでなく、有機化学、薬物動態など様々な視点について学びたい。
- 様々な研究室を訪れ、実際に実験を経験し、研究の進め方や課題解決のプロセスを学んだり、自分の興味の中心を見つけて将来の研究テーマや進む研究室を考えたい。。
- 金融の勉強。
- 自己啓発本を読んでモチベーションの向上。
- 国外での滞在(研究とか問わず)。
- 経営企画職として働くため、それに必要な excel などの microsoft のスキルや英会話力を向上させたい。
- 海外で日本とは異なる生活を見て、視野や知見を広げたい。
- チームワークとリーダーシップ経験。

部活動 サークル活動

- バレーボールクラブの運営。
- オーケストラの活動を通して協調性を養いたい。
- 合気道の練習を通じて集中力、忍耐力を養いたい。
また、緊張したときの対処法など精神的な成長を目指している。
- サークル活動をやり遂げ、タスクの両立と計画力を養う
- サークル活動を通じて、協調性とあきらめない心を育てておきたい。
- 部活動でリーダーとして活動し、多様な考えを持つ仲間と協力しながら目標を達成する経験を通じて、将来チーム医療や共同研究に生かせる協調性○リーダーシップを身につけたい。

プログラミングの修得○開発

- より高度な解析を実現するために、プログラミング力を強化すること。
- プログラミング技術の向上。
- ソフトウェアについての知識しかないと考えている。
- プログラミング技術の向上。
- プログラミングを学んでおきたい。
- プロダクトとして人々に届けるために必要な「サービスを IT でラッピングする力」を獲得するためのエンジニア経験。
- 他のプログラミング言語の学習

読書

- ビジネス知識を養うための読書。
- 趣味の読書を続けて、語彙力を向上したいです。

- 読書などを通して知識や知見を得ることで将来の活動に対するモチベーションを維持する。

運動 体力づくり 健康

- 5月から始めた筋トレを今後も継続。
- 今月末のマラソンを完走
- メリハリをつけて日常生活を送り、生活リズムをなるべく崩さないように心がける。
- 体力の向上と維持のために筋トレまたはランニング。
- 健康づくりのためのランニング、筋トレ。
- 体力維持のために運動習慣をつける。

- 健康的な身体づくりのため散歩。
- 運動で体力をつける。
- ブラジリアン柔術を通して体力強化。
- 運動習慣を身につけて、健康な体作り。
- 体力づくり○フルマラソン○筋トレ。
- 体力をつける。

コミュニケーション能力強化

- コミュニケーション能力の向上のために、多様な人々との交流。
- 医療現場で働く人とコミュニケーションを取ることが不可欠になると考えるため、アルバイトなど、自分の専門と異なる人と積極的に話すなど、コミュニケーション能力の強化。
- 接客業のアルバイトに力を入れ、コミュニケーション力を高める。
- 課外活動にも積極的に取り組み、協調性やより広い視野を身につけたい。

- 海外研究者とのやり取りを通じたグローバルコミュニケーション力の修得。
- 英語および中国語を磨き、コミュニケーション能力の向上を図る。
- (学業につながることかもしれません)英語によるコミュニケーション能力をさらに向上させることで、共同研究の幅を広げたいと考えています。
- 英語学習と国際交流。
- 海外の方とたくさんコミュニケーションをとって英会話のスキルを身に着けたいです。

資格

- 施工管理技士に合格。
- 新潟日本酒検定 金に合格。
- 資格の取得 工場では危険物を取り扱うので必要な知識を身につけておきたいから。
- 資格取得。
- 資格をとる。

- エンジニアとして生かせる資格勉強に取り組む。
- 一級建築士取得。
- 宅地宅建取引士取得。
- インテリアコーディネーターの資格。
- 運転免許を取得。

旅 行

- 海外旅行 学生の方が長期休みが取りやすく、新しい経験で価値観を広げられると思ったから。
- 見識を広げるため、海外旅行。
- 視野を広げるための旅行。
- 国内、海外旅行を通していろいろな土地を知る。
- 東京以外に旅行したい。

アルバイト

- アルバイトや趣味、学業の両立。
- アルバイトで社会経験を学ぶ。
- アルバイト、インターン、株式投資などを通し、企業や社会を知る。
- 様々な業種のアルバイトに挑戦し、それぞれの仕事の特色を体験しておきたい。
- 様々なアルバイトやインターンを通して社会性を身に着けたり視野を広げたりする。
- 今までやったことのない業種のアルバイトを経験して、業種ごとのビジネスモデルの違いを知りたい。

学会参加

- 学会に参加し知識を広める。
- 学会へ積極的に参加し、最先端の知識を身につけること。
- 国際学会への参加。
- 臨床実習中に学会での症例発表を経験したい。

趣 味

- ドラムの練習。
- 社会人になっても熱中できる趣味の発掘。
- 趣味のダンスや皇居ランを続けて体力向上したい。
- アルバイトや趣味、学業の両立。
- 趣味のランニングを続ける。走り続ける事で得られる諦めない気持ちや、継続のための体力などといった研究者に必要な心身をつくる。
- デジタル絵師になる。
- 趣味の物づくり。

人 脈 交 流

- 専門外の人々と積極的に交流する。
- 学会の懇親会等に参加し、様々な研究分野の研究者の方々と交流したいです。
- 研究室の留学生と交流して語学力の向上と異文化交流をしたい。
- 学生のうちに多くの人とかかわり、広い視野を持つ人物になる事を目指す。
- 海外の研究機関、研究者との積極的な交流
- 企業研究者を含め、様々なバックグラウンドを持った人と交流する。
- コミュニティを広げる。
- 工学○医療○デザインなど異分野の生徒との交流を持ち、問題解決のための幅広い視点を持ちたい。
- 多くの人との交流を深める。
- 人脈づくり。

自己分析

- 大学生活を通して培った経験を見つめ直す。
- 特に興味のある分野を探し極める

- 研究室から離れて自身と向き合う時間を作り、月に1回はつくる。

その他

- 自立を目指して自分のことは自分で解決する。
- 様々な人と関わることができるボランティア活動。
- 被災地の支援活動。
- 後輩となる学生との接し方(マネージメント)。
- 後進の育成。

- 社会人として自立できるように自炊に慣れておきたいです。
- 骨髄バンクをはじめとしたボランティア活動。
- 米国大学院留学。
- 名刺の作成とアウトリーチ活動。
- 一度国帰りたい。

3. その他自由記述

○昨年度 10 月～2 月、大学のプログラムでオリエンタルコンサルタンツ株式会社で長期インターンを行いました。耐震設計業務を担当させていただき、先輩社員の方々からご助力いただきながら、無事に遂行することができました。

同 3 月には右膝前十字靱帯の再建手術をしていただきました。リハビリは順調で、現在は軽いランニングとエアロバイクを行うことで筋力を元に戻しています。

研究が本格的に始まるとともに就活で大変多忙な日々を送っていますが、精一杯頑張りたいと思っております。

○授業料に関して、2025 年度前期分は申請が通り全額免除となりましたが、後期以降の免除についてはまだ確定しておりません。

○本年度も奨学金を支給いただきまして、ありがとうございます。現在、卒業研究に励んでおります。体調に気を付けながら、学業○研究に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

○ 昨年度から今年度にかけての 2 年間、奨学生としてご支援を賜り、誠にありがとうございました。

この 2 年間、貴財団からの経済的なご援助のおかげで、アルバイトの時間を減らし、大学院での研究や研究室の仲間と過ごす時間をより多く確保することができました。来年度からは社会人として新たな道を歩むことになりますが、これまでのご支援に心から感謝し、その恩を

忘れず社会に貢献できる技術者を目指して努めてまいります。

○最近は就職活動に励んでおります。やればやった分だけ成果として見えていた大学受験とは異なり、運やタイミングなどの要素も肝要になる就職活動ですが、面接や筆記テストなど、対策の出来るところに関しては精一杯努め、悔いのないように自分に合う会社を見つけていければと思っております。

趣味のダンスでは、11 月 1 日の学祭に出れることになりました。おそらく学生生活最後のステージとなることもあり、あと一ヶ月弱、練習に励んでいきたいです。

○いつも温かいご支援誠に有難うございます。貴財団のご支援のお陰で学業へ専念することができ先学期も満足できる成績を獲得する事ができました。心より感謝申し上げます。来年度よりいよいよ研究室配属となるため、引き続き貴財団への感謝の気持ちを忘れず精進して参りたいと思います。

○学会発表や学術論文の執筆等、自分の行う研究について伝える機会を多くいただいている、それに伴い、説明できるほどまで自分の研究について確実に理解することが大切であるということも身に染みて感じております。そのために、奨学金を支えに今後、一層自分の携わる領域に専念を持って勉強し、新たなことにも果敢に挑

戦していく、経験を重ねることで研究者として人間面でも成長していきたいと考えております。引き続きよろしくお願ひいたします。

○いつもお世話になっております。

卒業まで奨学生の自覚を持って学業や様々な活動に励んでまいります。

今後ともよろしくお願ひいたします。

○近況報告といたしましては、夏休みに企業のインターンシップに参加しました。現時点では、職業選択について非常に悩んでいるため、今後じっくり考えていきたいです。

○大変お世話になっております。貴財団からの支援があり、継続して研究に注力しております。深く御礼申し上げます。

今後は国内に限らず、世界中に研究活動を広め、貢献できるよう注力して参ります。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

○平素より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

給付奨学金のおかげで研究に専念でき、安心して日々過ごすことができています。

先日の第190回秋季後援会(日本鉄鋼協会主催)学生ポスターセッションでは、優秀賞をいただくことができました。この成果も、皆さまのご支援があつてこそと強く感じております。これからもいただいたご厚意に報いるべく、研究に真摯に取り組み、成長してまいります。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

○貴財団の奨学金のご支援を賜ったことにより、物価高に対する心配をせずに学業に励むことができております。先月、韓国から来た同学年の学生と対話する機会がありました。その方は、韓国語はもちろん、日本語と英語も流暢に話しており、自身の英語力の不足を痛感するとともに、努力の大切さを改めて実感いたしました。そのため、一層の勉学に励み、先日に参加が決定した国際学会にて成果を発揮できるよう努めてまいります。

また、先日、内定先の内定者式に参加いたしました。同期となる方々や先輩社員の方々と交流を重ね、来年度から社会人になるという実感が次第に湧いてまいりました。良いスタートを切るために、引越し費用の準備や社会人マナー、経営に関する知識の習得にも励んでおります。

最後になりますが、改めて奨学生として採用いただきましたこと、心より御礼申し上げます。残りわずかな学生生活ではございますが、今後も学業と将来への基盤づくりに全力を尽くしてまいります。

○お世話になっております。貴財団のご支援に心より感謝申し上げます。2年生前期の成績において、今学期も「各学科○課程専攻通算 GPA 上位 10%」に入り、顕彰していただきました。

後期では、ヒトを含む哺乳動物に関する生命現象を解明し、基礎医学分野へ応用できる知識○技術を修得するために、基礎生命科学のみならず幅広い分野、特に生理学や薬理学といった基礎医学を学んでおります。新たな知識○技術を積極的に吸収し、将来の研究活動につなげていく所存です。

アルバイトについては、塾講師をしているのですが、質問対応のみの業務を減らし、集団授業の講師としての勤務を増やすことで、少ない出勤日数でも収入を維持する工夫をいたしました。

貴財団のご支援に恥じぬよう、今後とも、学業に励み、自身の成長につながるよう精進して参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

○奨学金によるご支援、誠にありがとうございます。おかげさまで研究活動は順調に進んでおります。最近では、共著として投稿していた論文が学術誌に受理されました。また、責任著者として執筆した2本の論文も現在投稿中で、今後査読などが進む予定です。こちらについても、良いご報告ができるよう努めてまいります。さらに、詳細はまだ調整中ですが、2026年の1月から4月にかけてアメリカで研究を行う予定です。情勢の面で多少の不安もありますが、こちらも精一杯取り組む所存です。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

○お世話になっております。朝夕の空気に秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

このたびは、日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私は現在、昨年度より進めておりました卒業研究を無事終え、日本薬学会や学内での研究発表も滞りなく終えることができました。また、並行して取り組んでおりました就職活動も一区切りつき、大学生活の大きな節目を一つずつ乗り越えているところです。

現在は、薬剤師国家試験および卒業試験に向けて、

本格的に受験勉強に取り組んでおります。アルバイトは臨床実習終了後に再開いたしましたが、試験勉強に専念するため、11月をもって退職する予定です。

今後はこれまで以上に、古河記念基金様のご支援に頼らせていただくことになるかと存じます。改めて、これまでのご厚意に心より感謝申し上げます。

大学生活も残すところわずかとなりましたが、最後まで悔いの残らぬよう、充実した日々を過ごしたいと思っております。

今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

○いつもご支援いたき、誠にありがとうございます。修士課程までは貸与奨学金やアルバイト等で生計を立ててきましたが、現在はご支援頂いている奨学金によりアルバイトを行わず研究に専念できています。(なお、貸与型奨学金の返還はすでに開始しております。)博士課程に進学して半年が経ち、学部3年次から所属している研究室で修士課程とは異なる新たな研究課題に取り組んでおります。現在は論文投稿に向けてデータを収集している段階です。博士課程に進んでからは、後輩学生の指導や学会発表の機会も増え、発表準備や実験に尽力する日々を送っております。引き続き研究に励み、成果に繋げ、現在も病に苦しんでいる患者に1日でも早く治療薬を届られるよう、研究を着実に進めていきたいと考えております。

○大学4年から研究活動を始め、機械学習モデルの1種である物理リザバーの研究に取り組んでいます。この研究では、従来の機械学習では困難とされていた時系列データの解析を実現することを目指しています。物理リザバーの特性を活かし、より高精度なデータ分類や予測を行うことで、将来的には異常検知や天候の予測など、IT技術を活用した社会貢献を果たしたいと考えています。

○昨年度に引き続き、奨学金支援の継続を決定していただき、ありがとうございます。学術論文の投稿および博士学位論文の執筆に邁進いたしますので、何卒宜しくお願ひいたします。

○奨学金のご支援ありがとうございます。新学期が始まりました。来年度から研究室配属の予定のため今学期は今まで以上に実験科目が増え、忙しい日々になりそうですが、実験を通して自分の興味のある分野をより深く

理解できるよう努めていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

○将来の計画に書かせて頂いた通り、皆様のおかげで日々研究に専念することができております。最近ではロボティクス分野でトップクラスの国際学会である IROS で研究成果を発表するため、10月19日から1週間中国に出張する予定です。英語が少し苦手なので不安もありますが、頑張ります！

○今年度は奨学金を支給して頂き、誠にありがとうございます。無理なアルバイトをすることもなく、学業に集中することが出来ています。来年度もよろしくお願ひいたします。

○いつも奨学金によるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

現在私は、春学期にも実施した「学生主体で外部の建築家の方をお招きし、講演を行っていただくイベント」の準備に取り組んでおります。

春学期の講演会を通して得た改善点を踏まえつつ、コロナ禍により中断されていた活動の再開にも努めています。

より充実した内容の講演会となるよう、仲間と協力しながら日々準備を進めております。

このような活動に励むことができているのも、奨学金によるご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

○今年9月に内定をいただき、学生期間が後一年半あるので、来年7月の一級建築士試験に備え勉強を始めました。資格取得のための予備校に120万円かかるので、奨学金をいただけてることに感謝し、勉強に励んでおります。絶対にストレート合格したいです！

○地元を離れて通学している分、費用の負担が大きいですが、返済不要の奨学金をいただいていることでかなり軽減されているように感じております。また、奨学生としてご支援を頂いているという自覚をもって勉学に励むことができるため、とても有難く思っております。

○奨学金をいただき、改めまして感謝申し上げます。私は現在妊娠中で11月に出産予定ですが、無事前期の単位は全て取得でき、後期の講義にも参加することができています。このまま子供と私自身の健康状態に問題がなければ、休学せずに、学業と出産〇子育てを両立していきたいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。

○提出が遅くなり、大変申し訳ございません。

今後ともよろしくお願ひいたします。

○このたびはご支援を賜り、誠にありがとうございます。
おかげさまで研究活動に専念できる環境が整い、日々充実した学びを重ねております。今後とも精進してまいります。

○学部4年生の頃から博士3年まで長きにわたってご支援いただき、心より御礼申し上げます。おかげさまで日々研究に専念することができ、論文執筆の目処も立ってまいりました。一方で、学位取得の条件となつております「12月までの原著論文投稿」に関して、研究の完成度を高めるための追加実験を行う必要が生じており、投稿までに予定より時間を要する見込みです。そのため、十分な成果をまとめて学位審査に臨むべく、やむを得ず半年学位審査を延ばすことになりました。今後も計画的に研究を進め、延長期間内に必ず論文を仕上げる所存ですので、ご理解を賜われましたら幸いです。

○修士課程でも、引き続き奨学生として採用してくださり誠にありがとうございます。おかげさまで、現在就職活動と研究とアルバイトで忙しくも充実した日々を送っています。卒業後は、就職し、企業で研究開発を続けるこ

とを希望しており、一旦学生生活に区切りをつけようと思います。あと1年半の学生生活を全力で頑張ります。

○いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。
学位審査に向けて多忙な日々を過ごしていますが、ご支援のおかげで学業に集中することができています。引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○本年度は奨学生のご支援を賜り、研究活動に専念することができました。

その成果として、夏に開催された学会においてプレゼンテーション賞、「電気学会システム技術委員長賞」の2つの賞をいただきました。

これもひとえに日頃のご支援のおかげと深く感謝しております。今後も成果を積み重ね、社会に貢献できる研究者○技術者を目指してまいります。

○本年度は、支給決定書交付会に参加させていただきました。多くの奨学生と交流を深めることができ、非常に有意義な時間となりました。工場見学会は残念ながら悪天候のため中止になつてしましましたが、来年度の機会を楽しみにしております。最後に、貴奨学生としての誇りと責任を持ち、引き続き研究活動に取り組んでまいります。

○提出が遅くなつてしまい申し訳ありませんでした。

2025年11月奨学金受領確認書「通信欄」から

○現在、研究活動、就活と両立しながら三田祭に向けてドラムを練習しております。

○先月の10月10日をもって、7ヶ月間に亘るインターンシップを終えました。インターン先では、毎週のミーティングで英語で詰められたり、誤差評価のない実験結果に対して、意味のない実験だと叱られたりと、よく指導していただきました。今研究室に帰ってきて、以前よりも視座が上がった気がしており、とても良い機会だったと思っています。

○現在は国家試験合格のために勉学に励んでいます。残りの学生生活も気を抜かず、奨学金の自覚を持って努力いたします。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

○前回の報告の1か月後に、DSAAと呼ばれるIEEE主催の機械学習の学会に参加いたしました。開催地はイギリスのバーミンガム大学でした。自分の発表を終えた後は、他の発表を聞きつつ、バーミンガム大学の構内を見て回りました。構内は非常に広く、様々な設備が整っており、アカデミアの歴史を持つイギリスのすごさを感じました。再びこうした学会に参加したいという気持ちを、日々の研究のモチベーションにしてまいりたいと思います。

○引き続き、よろしくお願ひいたします。

○最近研究を順調に進めています。

○いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。先月は新潟市で開催された国内学会に参加し、学生優秀講演賞をいただくことができました。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

○いつもご支援いただきましてありがとうございます。先日の学園祭でカバーダンスの発表をおこないました(勝手ながら写真を添付させていただいております)。仲間と半年間練習してきたため、当日は沢山の方々に自信を持ってパフォーマンスをお見せすることができ、とても良い思い出になりました。これからも大好きなダンスをずっと続けたいと思います。

○先月、研究室で旭川にあるホンダの工場見学に行きました。普段は入ることができないテストコースにも入ることができ、非常に貴重な体験となりました。

○奨学金を支給いただき、ありがとうございます。卒業に必要な単位も取り終え、現在は卒業研究に取り組んでおります。私は二次電池に関する研究を行っており、ニューラルネットワークを用いたポテンシャルの作成を試みています。計算時間と計算精度の兼ね合いに苦労しつつも、非常に充実した研究生活を送っております。

○奨学金のご支給ありがとうございました。11月は学会発表の準備を進めています。12月は合格すればインターンに参加する予定です。今年もあと少しですが、悔いのないように頑張ります。

○いつもお世話になっております。奨学金を頂きまして誠にありがとうございます。私は、CBTという臨床実習前の大きなテストを明日に控えております。本日は勉強のラストスパートを頑張り、明日のテストを無事合格したいと思っています。皆様もお身体に気をつけてお過ごしください。

○平素よりご支援いただきありがとうございます。現在はこれまでの成果を英語論文誌に投稿することを目指しており、日々執筆を行っております。今月中の投稿を目指して頑張ります。

○大学院入試が終わり、ようやく一息つくことができた。時間もできたので、以前から学習したかったIT分野に本格的に着手し始め、10月末にはITパスポートを取得した。東京大学松尾研究室の主催するGCI(グローバル消費インテリジェンス)講座も受講しており、pythonの文法を基礎から学習している。Aiを活用したvibe codingによるChatbotづくりにも挑戦しており、業務委託でお仕事をいただくこともできた。将来的には、自分でつくりたいアプリがいくつかあるので、自分で実装できるようにスキルを身に着けたい。また、10月はじめはKuu Villageと呼ばれるPop up形式で村づくりを行うプログラムに参加した。自治基盤を自分たちでゼロからつくることを目標としており、サウナづくりや井戸掘り、ブロックチェーンを用いたオルタナティブな経済圏づくりやガバナンスツールづくりを行った。詳細はこちらの記事にまとめたのでご確認いた



だければ幸いです([生きるをつくる村。オルタナティブな自治基盤を共創する「Kuu Village」体験レポート | Koichi | 流浪大学生](#))。今後もこの経験から得られた学びを胸に刻み、精進していきたい。

○先日参加した国内および、国際学会にて発表賞を受賞いたしました。貴財団のご支援により研究に専念できております。心より感謝申し上げます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

○就活も本格的に始まりつつあり、志望企業をどこにするか悩んでいます。

○就活が周りより出遅れていて焦りしかないですが、どうにか自分のやることを冷静に見つめられるよう精進しながら修論と平行して頑張ろうと思います！！

○お世話になっております、いつもご支援いただきありがとうございます。さて、この3連休は学祭が開催されました。私は合気道部の演武会と研究室の模擬店に参加予定でしたが、爆破予告により演武会は中止、模擬店も2日目は中止になってしまいました。しかし、2日目も午後から多くの模擬店が復活していて、悔いは残るもの一生忘れない学祭になりました。今後ともよろしくお願ひいたします。

○奨学金のご入金、誠にありがとうございました。おかげさまで、研究に集中して取り組むことができております。現在は、11月7日に開催される学会発表の作成に取り組んでおります。今後もより一層精進してまいります。

○大変お世話になっております。いよいよ就職活動の早期選考がスタートし、就職活動と研究活動に本腰を入れています。どちらも順調に進んでおり、研究活動では2本目の論文執筆に取り組もうと検討している段階です。寒くなってしまったが、寒さに負けずに日々精進したく存じます。今後とも、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

○12月中旬について博士論文の提出があるため、その準備に邁進しております。無事博士号を取れるよう頑張りたいと思っております。引き続きご支援のほどよろしくお願ひいたします。

○ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。奨学金のご支援により、来週(11/10-11/11)開催される国際会議に参加し、研究成果を発表する予定です。この貴重な経験を今後の研究活動に活かしてまいります。

○学会発表や就活が重なり忙しい日々ですが、いただいた奨学金をもとに生活を維持できております。ありがと

うございます。

○研究もいよいよ大詰めとなり、忙しさからか、研究室内が少しピリピリとして参りました。この緊張感を紛らわすように、最近は研究漬けの日々を送っています。また、今は大学院の授業を先取りで受けていますが、自分が今まで触れてこなかった内容も学ぶことができ、知識の幅が広がったと実感しております。以上、簡単ではございますが、近況報告になります。時節柄、風邪をひかれませんようご自愛くださいませ。

○お世話になっております。いつも温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。おかげさまで生活に大きな変化もなく、国家試験に向けた勉強に取り組んでおります。大学生活も残りわずかとなりましたが、悔いの残らないよう一日一日を大切に過ごしていきたいと思っております。寒い日が増えてまいりましたので、どうぞご自愛くださいませ。

○9月と10月は、それぞれ札幌とつくばで学会発表を行いました。また先週末に弊学で開催された学園祭にも参加し、気分をリフレッシュすることができました。

○奨学金によるご支援ありがとうございます。近況としては、9月の中旬に広島で開催された日本物理学会で口頭発表を行いました。また、学術誌に論文を2稿提出し、レビューを待っている状態です。加えて、来年の年始から数ヶ月間、米国への渡航を予定しており、現在はその準備を進めています。今後ともよろしくお願ひいたします。

○一度体調を崩し、少し寝込んでしまったのと、助教授の発注のミスなどで実験が進まない期間が少しありましたが何とか頑張って実験を進めています。季節の変わり目というベタな時期に体調を崩し、悔しさを感じますが、体調に気をつけて頑張って行きたいと思います。

○いつもご支援いただき、大変ありがとうございます。引き続き、学位論文・原著論文投稿に向けて研究・執筆を進めてまいります。学会に出て以降、外部の先生方やボスドクの方とディスカッションさせていただく機会が増え、研究をより広い視点から考える良い刺激となっております。寒さに向かう季節、風邪など召されませんようご自愛ください。

○いつも奨学金によるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。現在私は、学生主体で開催する建築講演会の準備を進めています。今年度最後の開催となるた

め、より良い講演会となるよう、引き続き仲間と頑張っていきたいと思います。

○つい先日、私のこれまでの研究成果をまとめた学術論文が受理され、今まで行ってきたことの意義と、達成感、そして何よりも喜びを感じました。今後もさらなる研究についての学術論文の投稿に邁進していく次第です。今回の件でモティベーションも上昇しましたので、この前向きな考えを保ちながら、着実に研究を進め、博士課程への進学に向けて様々な能力の獲得に励みます。また、この論文の受理により1年修士課程を短縮できる、早期修了ができる可能性が出てまいりまして、その場合には来年の3月に卒業となると思います。しかし、まだ不確定ですでの、早期修了が確実になりましたらまたご連絡させていただく形をとった方がよろしいでしょうか。引き続き、よろしくお願ひします。

○論文執筆に加え、再来週のニュージーランドでの発表準備に追われております。結果と考察の詰めが難しいですが、頑張ります。

○直近の1か月間ほどでコロナとインフルエンザに感染してしまい。小さいころから体が少し弱く、なかなかうまくはいかないと感じているところです。しかし、強い免疫を獲得したという自負があるので、体調を崩さない程度に頑張って寝込んでいた分を取り戻していきたいと思います。

○10月はインターンと研究の両立が大変でした。インターンではなかなか主体的に動けず、苦労しています。

○いつも温かいご支援誠に有難うございます。

○いつも格別のご支援を頂き、ありがとうございます。最近は本格的に研究室での活動が始まり、専門分野への理解をより深めるため精進しているところです。新しいソフトウェアを使いながら、制御理論の理解に取り組んでいます。

○研究室に3ヶ月間配属され、発表会に向けて日々研究に打ち込んでいます。一人で実験の計画を立て、試行錯誤しながら進めていく時間がとても楽しく、少しずつ自分のペースで研究者として成長している実感があります。また、隣のラボが坂口先生の研究室であり、ノーベル賞受賞という歴史的な瞬間を間近で感じられたことは、何より大きな刺激になりました。この環境で学べることに感謝しながら、毎日を大切に過ごしています。

○先日、触媒学会の新電極触媒シンポジウムにて、学

生ポスター発表の優秀賞第一位として表彰状をいただきました。燃料電池の新規触媒開発に向けて、今後も精進して参ります。

○現在ドイツのマックスプランク研究所に滞在中です。1か月弱の滞在予定で、11月末に帰国します。

○現在、生理学や薬理学の授業を通して神経系について学んでいます。私たちの体の中での普段目に見えない働きを学べてることに心躍り、勉学に努めています。また、生命系の実験では形態学的研究法にてマウスの眼球や心臓、十二指腸の標本作製や観察に取り組んでいます。今後の研究において応用できる操作を学び、研究者になるため、一歩ずつ歩みを進めています。

○今月もありがとうございます。勉強に一層取り組み来年には3年生なので工学系の資格勉強や研究に取り組もうと考えています。おかげで成績も保つことができ、希望の研究室に行けそうです。

○後期は前期ほど授業が詰まっている為、教育系や飲食、工場など様々なアルバイトをして空き時間を過ごしています。働いてみて初めて知る事が多く、非常に興味深いです。また、11月下旬の学祭に向けて部活動も盛んになってきました。とても充実していますが、季節の変わり目なので体調に気をつけて過ごしたいです。古河記念基金の皆様も、お身体にお気をつけてお過ごしください。

○日頃から多大なるご支援をありがとうございます。秋冬学期が始まり、より本格的な実験が行えるようになり、忙しくはありますがとても充実した日々を過ごしております。今後ともよろしくお願ひいたします。

○今回もありがとうございました。近況報告にはなりますが、10/26に金沢マラソンに出場し、完走しました。初出場の去年のタイム4時間52分に比べ、今年は4時間21分と30分もタイムを縮めることができました。5月からジムに行き始めた影響で身体に筋肉が多く付き、練習当初は去年より走りづらかったですが、なんとか目標のサブ4.5いけたので良かったです。来年はサブ4を目指して頑張ります！

○いつも大変お世話になっております。最近はIROSという国際学会で発表するため、10月19日から26日まで中国に出張しておりました。流石はICRAと並んでロボティクス分野のトップカンファレンスと言うべきか、会場はこれまで見たことがない数の様々なロボットで溢れており、

面白い発表もたくさん聞くことができて非常に良い刺激を受けました。また、私の母校である神戸高専(神戸市立工業高等専門学校)から進学ガイダンスで進学OB代表として講演してほしいとの依頼があり、12/4に4年生240人全員の前で講演することになりました。何を話せば良いのでしょうかと聞いたところ「学生達に夢と希望を与えてほしい」とのこと、なかなか責任重大な任務だと冷や汗をかいております(笑)。その講演用のスライドは今まさに作っている途中なのですが、「国際学会はこんな感じです」と紹介するスライドを近況報告を兼ねてお送りいたしますので、ぜひご覧いただければと思います。(もちろん、実家に経済的な余裕がなかったけれど古河記念基金様をはじめとした色々な方・制度に助けていただいたおかげで大学に行けたことも紹介します)



追伸:国際学会では自分の修士論文のテーマの一つである「全身軌道最適化に基づく人型ロボットの宙返りなどのジャンプ動作の生成」を発表したのですが、論文と一緒に提出した添付ビデオもお送りいたします。内容は専門的ですが、最初の数秒で人型ロボットがシミュレーション上で宙返りしている動画があり、なんとなく研究の雰囲気はお分かり頂けるのではないかと思いますので、こちらもご覧いただければ嬉しいです。

○後期の授業が始まり、設計では不気味な住宅を設計しています。賞をいただけるよう楽しみながら頑張ります!

○お世話になっております。来月参加予定の国際学会に向けて、発表資料や英語での発表練習を行っております。初めての国際学会への参加、英語での発表ということもあり、不安が募る一方です。そこで、博士課程の先輩方からアドバイスを頂き、準備を進めており、自身の研究を説明できるよう、これからも努めてまいります。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

○インフルエンザに感染し寝込んでいたため、確認が遅れてしまいました。連絡が遅くなり誠に申し訳ございません。

○お返事が遅くなってしまい大変申し訳ありませんでした。寒暖差が激しいですがいかがお過ごしでしょうか?私は昨日風邪をひきました。お身体にはご自愛ください。

古河記念基金へのご支援のお願い

古河記念基金は、設立以来、延べ3,560人の経済的に困難な学生に奨学金を支給し、学業〇研究の場を与えられるよう支援して参りました。

当基金は、税額控除制度が適用される法人として認定されておりますが、認定継続には、一定の寄付者数を確保〇継続していく必要があります。

つきましては、これまで以上に、皆様の強く温かいご支援〇ご協力をお願い申しあげます。

◎寄付の申し込み方法

「寄付申込書」を以下のサイトからダウンロードいただき、事務局宛にお申し込みください。

「一般法人〇公益法人等情報公開 共同サイト」

<http://www.disclo-koeki.org/08a/00991/index.html>



「寄付申込書」および「ご入金の確認」ができ次第、寄付金受領証明書(税務申告書類)等を
ご送付いたします。

当基金への寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

税額控除の詳細は、『公益法人 information』をご参照下さい。

https://www.koeki-info.go.jp/pictis_portal/other/zei_kojin.html



公益財団法人 古河記念基金

東京都千代田区大手町 2-6-4

常盤橋タワー(古河三水会内)

電話:03-6262-0804 FAX:03-6262-0806

メールアドレス:kinenkikin@furukawa-sansuikai.gr.jp